

令和 6 年度(2024 年度)用

小学校国語科用

「新編 新しい国語」 年間指導計画作成資料 【4年】

令和 5 年（2023 年）7 月版

※単元ごとの配当時数，主な学習活動，評価規準などは，今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新編 新しい国語」（第4学年）年間指導計画

■「評価の観点及びその趣旨」、「学年別の評価の観点の趣旨」の作成について

単元の指導計画・評価計画の作成に当たっては、各学校の実態に応じて目標に準拠した評価を行うために、学習指導要領に示された教科の目標を踏まえた「評価の観点及びその趣旨」と、学年の目標を踏まえた「学年別の評価の観点の趣旨」を作成します。

なお「主体的に学習に取り組む態度」の観点は、教科および学年の目標の(3)のうち、観点別学習状況の評価を通じて見取る部分をその内容として整理し、作成します。

小学校国語科の目標と「評価の観点及びその趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第1 目標」

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点及びその趣旨 <小学校 国語>

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、言語感覚を養い、言葉をよりよく使おうとしている。

第3学年及び第4学年の目標と「評価の観点の趣旨」

小学校学習指導要領 第2章 第1節 国語「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 1 目標」

(1)	(2)	(3)
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点の趣旨 <小学校 国語>第3学年及び第4学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをまとめたりしながら、言葉がもつよさに気付こうとしているとともに、幅広く読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

■評価規準

【知・技】…「知識・技能」の観点および学習指導要領との対応

【思・判・表】…「思考・判断・表現」の観点および学習指導要領との対応

【主】…「主体的に学習に取り組む態度」の観点

※◎は、重点指導事項に対応する評価規準を示す。

※学習指導要領との対応に示した記号は以下の通り。（「◇言語活動」においても同様）

〔知識及び技能〕(1)…言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)…情報の扱い方に関する事項 (3)…我が国の言語文化に関する事項

〔思考力・表現力・判断力等〕A…話すこと・聞くこと B…書くこと C…読むこと

単元の指導計画・評価計画案

4 年

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	<p>もしも、こんなことができるなら</p> <p>2時間(話聞2) 教科書: 上巻 P.14～15</p> <hr/> <p>既習事項との関連 好きなことや得意なことを質問しながら話す。(3 上「あなたのこと、教えて」)</p>	<p>●互いの考えに関心を持ち、共通点や相違点に着目しながらやりとりを続けることができる。 ◇対話をする。</p> <hr/> <p>1 既習事項を確かめ、単元の見通しを持つ。 2 「もしも○○だったら」と想像したことを話す。 3 他にも「もしも」の話題を考えて、やりとりをする。 4 学んだことを振り返り、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア</p> <p>【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、互いの意見の共通点や相違点に着目している。A(1)オ</p> <p>【主】 ・進んで互いの意見の共通点や相違点に着目し、学習の見通しを持って対話をしようとしている。</p>	
4	<p>想像したことを音読で表そう こわれた千の楽器</p> <p>8時間(読8) 教科書: 上巻 P.16～26</p> <p>【言葉の力】 人物の気持ちを想像して音読する</p> <hr/> <p>既習事項との関連 様子をそっくりして音読する。(3 年「すいせんのラッパ」)</p>	<p>●登場人物の様子や気持ちを想像し、想像したことを音読で表現することができる。 ◇物語を音読する。C(2)イ</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 「こわれた千の楽器」を読み、人物の行動や様子を確かめる。 3 登場人物の気持ちとその変化を想像し、音読の仕方を考える。 4 想像したことを音読で表現し、互いに聞き合う。</p> <p>振り返る 5 登場人物の気持ちをどのように想像したか、またそれを表すためにどのように音読したかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。C(1)イ</p> <p>【主】 ・進んで人物の気持ちを想像し、学習の見通しを持って物語を音読しようとしている。</p>	・人物の気持ちを想像しながら音読するなどして、読書を楽しむ。
4	<p>漢字を使おう 1</p> <p>1 時間(書 1) 教科書: 上巻 P.27</p>	<p>●3年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。</p> <hr/> <p>1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、休み時間について文を書く。 3 学習を振り返り、3年生までに習った漢字を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文を整えている。B(1)エ</p> <p>【主】 ・進んで第3学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。</p>	
4	<p>図書館へ行こう</p> <p>2時間(知技2) 教科書: 上巻 P.28～31</p> <hr/> <p>既習事項との関連 図書館や資料の利用の仕方について理解する(3 年上「図書館へ行こう」)</p>	<p>●日本十進分類法や本の作りについて理解し、図書館を活用することができる。</p> <hr/> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 日本十進分類法や、本の作りについて理解する。 3 図書館のどの本棚にどのような種類の本が置かれているかを確かめる。 4 図書館には、さまざまなユニバーサル資料があることを知る。 5 学習を振り返り、図書館や資料の利用方法についての理解を確かめる。</p>	<p>【知・技】 ◎幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ</p> <p>【主】 ・進んで日本十進分類法や本の作りについて理解し、学習の見通しを持って、図書館を活用しようとしている。</p>	・生活の中の読書に生かす。 ・他教科等で調べる学習を行う際に、図書館を活用する。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
4	話を聞いて質問しよう 5時間(話聞5) 教科書:上巻 P.34～37 【言葉の力】 くわしく知るために質問する ----- 既習事項との関連 だいたいなことを記録する(3上 「メモを取りながら話を聞こ う」)	●分からないことがないか気をつけながら話 を聞いて、メモを取り、質問を考えることが できる。 ◇質問するなどして情報を集める。A(2)イ ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 取り組む 2 話を聞いて、メモを取る。 3 メモを見て、質問を考える。 4 別の話を聞いて、質問を考える。 振り返る 5 話の内容を詳しく知るためにどのような質 問をしたかを振り返り、身につけた「言葉 の力」を確かめ、これからの学習に生かそ うという意識を高める。	【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを 表す働きがあることに気づいている。 (1)ア ・必要な語句の書き留め方を理解し使 っている。(2)イ 【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、必要 なことを記録したり質問したりしながら聞 き、話し手が伝えたいことや自分が聞 きたいことの中心を捉え、自分の考え を持っている。A(1)エ 【主】 ・進んで詳しく知るために質問し、学習 の見通しを持って情報を集めようとし ている。	・社会科見学で、 工場で働く人 に、機械につい て質問する。
5	漢字辞典の使い方 2時間(知技2) 教科書:上巻 P.38～41 ----- 既習事項との関連 国語辞典の仕組みや使い 方を理解する(3上「国語じてん の使い方」)	●漢字辞典の仕組みと使い方を知り、漢字の 学習に活用することができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 2 漢字辞典の仕組みを知る。 3 漢字辞典の使い方を理解して、辞典を 使って漢字を調べる。 4 学習を振り返り、漢字辞典の使い方 についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎辞書や事典の使い方を理解して使っ ている。(2)イ ・漢字が、へんやつくりなどから構成さ れていることについて理解している。 (3)ウ 【主】 ・進んで漢字辞典の使い方を理解し、 学習課題に沿って漢字の学習に活用 しようとしている。	
5	文章の組み立てをとらえ よう ヤドカリとイソギンチャク 8時間(読8) 教科書:上巻 P.42～52 【言葉の力】 段落どうしのまとまりをとらえ る ----- 既習事項との関連 段落の内容を捉える(3年 「自然のかくし絵」)	●ヤドカリとイソギンチャクの関係を伝えるた めに、筆者がどのように文章を組み立てて いるのか考えることができる。 ◇文章を読み、分かったことや考えたことを説 明する。C(2)ア ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通し を持つ。 取り組む 2 「ヤドカリとイソギンチャク」を読み、文章に 書かれていることを確かめる。 3 段落どうしのまとまりについて考える。 4 文章の組み立てについて話し合う。 振り返る 5 段落どうしのまとまりを捉えるときに、ど のような点に注目して考えたかを振り返り、 身につけた「言葉の力」を確かめ、これか らの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・接続する語句の役割や段落の役割に ついて理解している。(1)カ ・考えとそれを支える理由や事例、全体 と中心など情報と情報との関係につい て理解している。(2)ア 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、段落相互の関 係に着目しながら、考えとそれを支え る理由や事例との関係などについて、 叙述を基に捉えている。C(1)ア ・「読むこと」において、文章を読んで理 解したことに基づいて、感想や考えを 持っている。C(1)オ 【主】 ・進んで段落どうしのまとまりを捉え、学 習の見通しを持って、文章の組み立 てについて話し合おうとしている。	・本や資料を使 って調べるとき に、段落どうし のまとまりを捉 えながら読む。
5	漢字を使おう 2 1 時間(書1) 教科書:上巻 P.53	●3年生までに習った漢字を使って、文を書く ことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、家の様子につい て文を書く。 3 学習を振り返り、3年生までに習った漢字 を確かめる。	【知・技】 ◎第3学年までに配当されている漢字を 書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、間違いを正した り、相手や目的を意識した表現になっ ているかを確かめたりして、文を整え ている。B(1)エ 【主】 ・進んで第3学年までに配当されている 漢字を使い、学習課題に沿って文を 書こうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
5	<p>じょうほうのとびら 引用する</p> <p>2時間(書2) 教科書:上巻 P.54～55</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 知りたいことについて本で調べる方法を理解する(2年「本でしらべる」)</p>	<p>●引用の仕方やルールについて理解して、学んだことを生かしながら文や文章を書こうとしている。</p> <p>◇適切に引用して文章を書く。</p> <p>-----</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 引用の仕方やルールについて理解する。 3 課題に取り組み、教材文の言葉を引用しながら文章を書く。 4 学習を振り返り、引用の仕方についての理解を確かめる。 	<p>【知・技】 ◎引用の仕方や出典の示し方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。B(1)イ</p> <p>【主】 ・進んで引用の仕方やルールについて理解し、学習課題に沿って、学んだことを生かしながら文や文章を書こうとしている。</p>	<p>・総合的な学習の時間などで調べたことをもとに発表するとき、調べたことと自分の考えなどを区別する。</p>
5 ～ 6	<p>わたしのクラスの「生き物図かん」</p> <p>9時間(書9) 教科書:上巻 P.56～61</p> <p>【言葉の力】 だん落どうしのまとまりを考えて書く</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 中心を明らかにして書く(3上『わたし』の説明文を書く)</p>	<p>●段落どうしのまとまりを考えて、リーフレットを作ることができる。</p> <p>◇調べて考えたことをリーフレットにまとめる。B(2)ア</p> <p>-----</p> <p>見通す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 <p>取り組む</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 好きな生き物を選び、材料を集める。 3 段落どうしのまとまりを考える。 4 リーフレットを作る。 5 「生き物図鑑」を作る。 <p>振り返る</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 段落どうしのまとまりを考えるときどのようなことに気がつけたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。 	<p>【知・技】 ・段落の役割について理解している。 ・必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方などを理解し使うこと。(2)イ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>◎「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。B(1)イ</p> <p>【主】 ・進んで段落どうしのまとまりを考え、学習の見通しを持って、リーフレットを作ろうとしている。</p>	<p>・ほかの人の話や文章を引用しながら、自分の考えを分かりやすく発表する。</p>
6	<p>物語が変化する場面をとらえよう 走れ</p> <p>8時間(読8) 教科書:上巻 P.62～78</p> <p>【言葉の力】 物語の山場に着目する</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 あらすじをまとめる(3上「ワニのおじいさんのたから物」)</p>	<p>●物語の山場で、何がどのように変化したかを考え、考えたことを話し合うことができる。</p> <p>◇物語を読み、登場人物の気持ちの変化について考えたことを伝え合う。C(2)イ</p> <p>-----</p> <p>見通す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 <p>取り組む</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 「走れ」を読み、登場人物について確かめる。 3 物語の山場で、どんな変化が起きたかを考える。 4 考えたことを話し合う。 <p>振り返る</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 物語の山場やそこでの変化についてどのようなことを考えたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。 	<p>【知・技】 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像している。C(1)エ</p> <p>【主】 ・進んで中心人物の変化を捉え、学習の見通しを持って具体的に想像し、考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<p>・物語の山場はどこかを考えながら、本や漫画、ドラマなどを楽しみ、物語のおもしろさを味わう。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
6	漢字を使おう 3 1 時間(書 1) 教科書: 上巻 P.79	●3年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、運動する様子について文を書く。 3 学習を振り返り、3年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文を整えている。B(1)エ 【主】 ・進んで第3学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	
6	人物の気持ちと行動を表す言葉 2時間(書2) 教科書: 上巻 P.80～81 ----- 既習事項との関連 語句の量を増し、語彙を豊かにする(3 上「人物がすることを表す言葉」、3 下「人物の気持ちを表す言葉」)	●人物の気持ちと行動を表す言葉について理解し、意図に合った言葉を選んで文を書くことができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 人物の気持ちと行動を表す言葉について理解する。 3 人物の気持ちと行動を表す言葉を集めたり、それらを使って文を書いたりする。 4 学習を振り返り、人物の気持ちと行動を表す言葉についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎気持ちや行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。B(1)エ 【主】 ・進んで人物の気持ちと行動を表す言葉について理解し、学習課題に沿って、意図に合った言葉を選んで文を書こうとしている。	
6 7	山場のある物語を書こう 8時間(書8) 教科書: 上巻 P.82～85 【言葉の力】 組み立てをくふうして物語を書く ----- 既習事項との関連 場面のつながりを考えて書く(2年「絵を見てお話を書こう」)	●組み立てをくふうして、山場のある物語を書くことができる。 ◇物語を作るなど、感じたことや想像したことを書く。B(2)ウ ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 物語の時、場所、人物を考える。 3 物語の組み立てを工夫する。 4 物語を書く。 5 物語を読みあい、感想を伝え合う。 振り返る 6 物語の組み立てをどのように工夫して書いたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。(1)ウ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ◎「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりの段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。B(1)イ 【主】 ・進んで組み立てを工夫し、学習の見通しを持って、想像をふくらませて物語を書こうとしている。	・山場に注意して、本や映画を楽しむ。
7	漢字を使おう 4 1 時間(書 1) 教科書: 上巻 P.86	●3年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、お祭りの様子について文を書く。 3 学習を振り返り、3年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文を整えている。B(1)エ 【主】 ・進んで第3学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
7	ローマ字の書き方 2時間(知技2) 教科書:上巻 P.87～89 ----- 既習事項との関連 ローマ字の書き方を理解する(3上「ローマ字①」)	●ローマ字による日本語の音の表し方や二通りの書き方を理解し、ローマ字を読んだり書いたりすることができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 ローマ字の仕組みを理解して、書き方を確かめる。 3 学習を振り返り、ローマ字の書き方についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ 【主】 ・進んでローマ字の仕組みや書き方について理解し、学習課題に沿って、ローマ字で表記されたものを読んだり、ローマ字で書いたりしようとしている。	
7	表し方のくふうを考えよう 広告を読みくらべよう 6時間(読6) 教科書:上巻 P.90～100 【言葉の力】 表し方のくふうを読み取る ----- 既習事項との関連 書き手の工夫を読み取る(3年「「給食だより」を読みくらべよう」)	●二つの広告を読み比べて表し方の工夫を読み取り、なぜ違いがあるのかを考えることができる。 ◇二つの広告を読み比べて考えたことを伝える。C(2)ア ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 広告とはどのようなものか、確かめる。 3 二つの広告を読み比べる。 4 身の回りの広告から、表し方の工夫を見つける。 振り返る 5 どのような点に注目して作り手の意図と表し方の工夫を考えたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・比較や分類の仕方を理解し使っている。(2)イ 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。C(1)ウ ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。C(1)カ 【主】 ・進んで読み比べて表し方の工夫を読み取り、学習の見通しを持って広告の違いを考えようとしている。	・テレビやインターネットの広告を読むとき、その内容や表し方に注意する。
7	述語の形、だいたいようぶ？ 2時間(書2) 教科書:上巻 P.102～103 ----- 既習事項との関連 主語と述語との関係を理解する(3上「主語とじゅつ語、つながってる?」)	●文に合った述語の形について理解し、主語と述語を適切につなげて文を書くことができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 文に合った述語の形について理解する。 3 述語の形に気をつけながら文を書く。 4 学習を振り返り、文に合った述語の形についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎主語と述語との関係について理解している。(1)カ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。B(1)エ 【主】 ・進んで述語の形について理解し、学習課題に沿って、文に合った述語の形で文を書こうとしている。	
7	四年生の本だな ―本は楽しむもの 2時間(知技2) 教科書:上巻 P.104～109	●幅広く読書に親しみ、自分の興味に応じた本を選んで読むことができる。 ----- 1 単元の学習の見通しをもつ。 2 P.108、109の読書体験文を読む。 3 「四年生の本だな」やP.108、109で紹介している本などを手がかりにして、自分が興味を持った本やこれまでに読んだことのない本を探して読む。	【知・技】 ◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ 【主】 ・進んで幅広く読書に親しみ、今までの学習を生かして、多様な本を読もうとしている。	・生活の中の読書に生かす。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
9	<p>詩を読もう ふしぎ よかったなあ</p> <p>2時間(読2) 教科書:上巻 P.112～115</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 場面の様子や人物の気持ちを想像しながら、詩を音読する。(3年「紙ひこうき／夕日がせなかをおしてくる」)</p>	<p>●詩に描かれた情景について想像を広げながら、詩を音読することができる。 ◇詩を読み、考えたことを伝え合う。C(2)イ</p> <p>-----</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 詩の構成や表現に着目し、詩に描かれている様子や心情について考え、友達と話し合う。 3 友達と話し合ったことを基に、詩を音読する。 4 単元の学習を振り返り、どのような表現からどのようなことを感じたり考えたりしたかを確かめる。 	<p>【知・技】 ・文章全体の構成や文章の大体を意識しながら音読している。(1)ク</p> <p>【思・判・表】 ◎「読むこと」において、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。C(1)エ</p> <p>【主】 ・進んで描かれた情景について想像を広げながら、学習の見通しを持って詩を音読しようとしている。</p>	
9	<p>お願いやお礼の手紙を書こう</p> <p>4時間(書4) 教科書:上巻 P.116～119</p> <p>【言葉の力】 相手や目的を考えて手紙を書く</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 だいたいなことを手紙で伝える(3年「案内の手紙を書こう」)</p>	<p>●相手や目的を考えて、お願いやお礼の手紙を書くことができる。 ◇相手や目的に応じた手紙を書く。B(2)イ</p> <p>-----</p> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 手紙の書き方を確かめる。 3 手紙を書いて読み返す。</p> <p>振り返る 4 相手や目的を考えて手紙を書いたかどうかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。(1)キ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>◎「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。B(1)エ</p> <p>【主】 ・進んで相手や目的を考え、学習の見通しを持って、お願いやお礼の手紙を書こうとしている。</p>	・社会科の学習で、見学のお願いやお礼の手紙を書く。
9	<p>ことわざ・故事成語を使おう</p> <p>4時間(書4) 教科書:上巻 P.120～123</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 慣用句に慣れ親しむ。(3上「慣用句を使おう」)</p>	<p>●ことわざや故事成語について意味や使い方を理解し、文や文章を書くことができる。 ◇調べたことや教えたことをカードにまとめる。</p> <p>-----</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 ことわざや故事成語について知る。 3 ことわざや故事成語を集めて、カードに書く。 4 「ことわざ・故事成語ブック」を作る。 5 単元の学習を振り返り、ことわざ・故事成語について学んだことの理解を確かめる。 	<p>【知・技】 ◎長い間使われてきたことわざや故事成語などの意味を知り、使っている。(3)イ</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主】 ・進んでことわざや故事成語について理解し、学習課題に沿って、文や文章を書こうとしている。</p>	
9	<p>クラスで話し合って決めよう</p> <p>6時間(話聞6) 教科書:上巻 P.124～130</p> <p>【言葉の力】 役わりを考えながら話し合う</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 司会の進行にそって話し合う(3上「グループの合い言葉を決めよう」)</p>	<p>●役割を意識しながら、クラスで話し合うことができる。 ◇互いの考えを伝えるなどして、学級全体で話し合う。A(2)ウ</p> <p>-----</p> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 話し合いのための役割を決める。 3 話し合いの進め方を確かめる。 4 クラスで話し合う。</p> <p>振り返る 5 それぞれの役割で、どんなことに気をつけながら話し合ったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・相手を見て話したり聞いたりしている。(1)イ</p> <p>【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。A(1)オ</p> <p>【主】 ・進んで役割を考えながら、学習の見通しを持って互いの考えを伝えるなどして学級全体で話し合おうとしている。</p>	・学級会で、レクリエーションの内容を決める話し合いをする。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
9	漢字を使おう 5 1 時間(書 1) 教科書:上巻 P.131	●3年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、日本の海や湖について文を書く。 3 学習を振り返り、3年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文を整えている。B(1)エ 【主】 ・進んで第3学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	
9	文の組み立てと修飾語 2 時間(知技 2) 教科書:上巻 P.132～133 ----- 既習事項との関連 修飾・被修飾の関係を理解する(3上「くわしく表す言葉」)	●主語、述語、修飾語それぞれの働きを理解し、文の構成を捉えることができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 修飾語の役割を理解し、主語、述語、修飾語からできている文の構成を確かめる。 3 修飾語が重なる文の語と語の関係を理解し、文の構成を図示したり文を作ったりする。 4 学習を振り返り、文の構成についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解している。(1)カ 【主】 ・進んで主語、述語、修飾語それぞれの働きを理解し、学習課題に沿って文の構成を捉えようとしている。	
9 と 10	題名の持つ意味について 考えよう 一つの花 10時間(読10) 教科書:上巻 P.134～146 【言葉の力】 物語の中のだいたいの言葉に着目する ----- 既習事項との関連 人物のせいかくを想ぞうする。(3年「モチモチの木」)	●だいたいの言葉に着目し、「一つの花」という題名の意味について考えたことを伝え合うことができる。 ◇物語を読み、題名の持つ意味について考えたことを伝え合う。C(2)イ ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 「一つの花」を読み、物語の内容を確かめる。 3 繰り返される表現に着目し、登場人物の気持ちについて考える。 4 題名について考えたことを伝え合う。 振り返る 5 題名の持つ意味について、どのような言葉に着目して考えたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア 【思・判・表】 ◎「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。C(1)エ 【主】 ・進んで物語の中の大事な言葉に着目し、学習の見通しを持って、物語の内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合おうとしている。	・本や漫画などの題名の意味について考えて読む。
10	漢字を使おう 6 1 時間(書 1) 教科書:上 P.147	●3年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、庭の様子について文を書く。 3 学習を振り返り、3年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文を整えている。B(1)エ 【主】 ・進んで第3学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
10	<p>和室と洋室のよさをしょうかいしよう くらしの中の和と洋</p> <p>8時間(読8) 教科書:下巻 P.8～18</p> <p>【言葉の力】 目的に合わせて要約する</p> <hr/> <p>既習事項との関連 要約する(3年「せっちゃんぐざいの今と昔」)</p>	<p>●自分の考える和室と洋室のよさについて、書かれていることの要約を用いて紹介することができる。</p> <p>◇文章を読み、分かったことや考えたことを説明する。C(2)ア</p> <hr/> <p>見通す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 <p>取り組む</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 「くらしの中の和と洋」を読み、文章の内容を確かめる。 3 文章の中から、紹介文に使う部分を選んで要約する。 4 紹介文を読んで、感想を伝え合う。 <p>振り返る</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 どのように要約し、どのように自分の生活と結びつけて紹介したかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較や分類の仕方を理解し使っている。(2)イ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。C(1)ア ◎「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。C(1)ウ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで目的に合わせて文章を要約し、学習の見通しを持って、紹介文を書いて感想を伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科や理科で、本や資料を使って調べたことをまとめるとき、目的に合わせて要約する。
10	<p>じょうほうのとびら 観点を立ててくらべる</p> <p>2時間(書2) 教科書:下巻 P.19～21</p> <hr/> <p>既習事項との関連 情報を分類して整理する方法を理解する(3年「分ける」)</p>	<p>●観点を立てて情報を比較することについて理解し、情報を分かりやすく整理することができる。</p> <p>◇観点を立てて比較して、複雑な情報を整理する。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 観点を立てて比べることについて理解する。 3 課題に取り組み、観点を立てたことを表に整理することができる。 4 学習を振り返り、観点を立てて比べることについての理解を確かめる。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎比較の仕方を理解し使っている。(2)イ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで観点を立てて比較することについて理解し、学習課題に沿って、複雑な情報を分かりやすく整理しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の学習などで複数の物事を比べるとき、観点を明確に立てる。
10 と 11	<p>「和と洋新聞」を作ろう</p> <p>7時間(書7) 教科書:下巻 P.22～26</p> <p>【言葉の力】 目的に合わせて材料を整理する</p> <hr/> <p>既習事項との関連 調べたことを整理する(3下「道具のひみつをつたえよう」)</p>	<p>●目的に合わせて材料を整理し、「和と洋新聞」を作ることができる。</p> <p>◇調べたことをもとに新聞を作る。B(2)ア</p> <hr/> <p>見通す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 <p>取り組む</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 材料を集めて整理する。 3 記事の下書きを作る。 4 割り付けを決めて新聞を完成させる。 <p>振り返る</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 材料を整理するとき、どのように工夫したかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解している。(1)ウ ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。(2)イ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。B(1)オ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで目的に合わせて材料を整理し、学習の見通しを持って、「和と洋新聞」を作ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科で、集めた材料を目的に合わせて整理して、新聞にまとめる。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
11	つなが言葉 2時間(知技2) 教科書:下巻 P.28～29 既習事項との関連 文の構成を理解する(3上「くわしく表す言葉」、4下「文の組み立てと修飾語」)	●つなが言葉の働きを理解して、文や文章の中で正しく使うことができる。 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 つなが言葉の働きを理解する。 3 前後の意味を考えて、つなが言葉を使って文と文をつないだり一文を二文に分けたりする。 4 学習を振り返り、つなが言葉についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎接続する語句の役割について理解している。(1)カ 【主】 ・進んで接続する語句について理解し、学習課題に沿って、文や文章の中で使おうとしている。	
11	聞いてほしいな、こんな出来事 6 時間(話聞 6) 教科書:下巻 P.30～33 【言葉の力】 聞く人に伝わるようにくふうして話す 既習事項との関連 話の中心がはっきりするように話す(3下「話したいな、すきな時間」)	●身の回りの出来事と自分の気持ちが聞く人に伝わるように、工夫して話すことができる。 ◇身の回りの出来事を話す。 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 話題を決め、材料を集める。 3 話を組み立てる。 4 話す練習をする。 5 みんなの前で話す。 振り返る 6 聞き手に気持ちが伝わるように、話し方をどのように工夫したかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。A(1)ア ◎「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。A(1)ウ 【主】 ・進んで聞く人に伝わるように話し方を工夫し、学習の見通しを持って、身の回りの出来事を話そうとしている。	・行事の思い出を家の人に話す。
11	じゅく語の意味 2 時間(知技 2) 教科書:下巻 P.34～35 既習事項との関連 漢字の意味を理解する(3上「漢字の表す意味」、4上「漢字辞典の使い方」)	●二字熟語の構成について理解し、文や文章の中で使うことができる。 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 二字熟語の構成の類型を理解する。 3 さまざまな熟語について、構成と意味を考える。 4 学習を振り返り、熟語の構成と意味についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎第4学年までに配当されている漢字を読んだり、文や文章の中で使ったりしている。(1)エ 【主】 ・進んで二字熟語の構成について理解し、学習課題に沿って、熟語の構成から意味を捉えようとしている。	
11 と 12	人物の気持ちの変化を伝え合おう ござつね 13 時間(読 13) 教科書:下巻 P.36～58 【言葉の力】 人物の気持ちの変化を想像する 既習事項との関連 中心人物の行動や気持ちをとらえる。(3年「サーカスのライオン」)	●登場人物の気持ちは、どのように変化したのか、また、それはなぜなのかを想像して伝え合うことができる。 ◇物語を読み、考えたことを伝え合う。C(2)イ 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 「ござつね」を読み、起こった出来事を確かめる。 3 人物の気持ちがどのように変化していったか考える。 4 登場人物の気持ちについて想像したことを伝え合う。 振り返る 5 どんなことを手がかりにして人物の気持ちの変化とその理由を想像したかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている(1)オ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。C(1)エ 【主】 ・進んで人物の気持ちの変化を想像し、学習の見通しを持って、読んで考えたことを伝え合おうとしている。	・人物の気持ちの変化を想像しながら本を読み、読書を楽しむ。

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
12	漢字を使おう 7 1 時間(書1) 教科書:下巻 P.59	●3年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、誕生日パーティーについて文を書く。 3 学習を振り返り、3年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文を整えている。B(1)エ 【主】 ・進んで第3学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	
12	人物のせいかくと行動を表す言葉 2時間(書2) 教科書:下巻 P.60～61 ----- 既習事項との関連 語句の量を増し、語彙を豊かにする(3下「人物の気持ちを表す言葉」、4上「人物の気持ちと行動を表す言葉」)	●人物の性格と行動を表す言葉について理解し、意図に合った言葉を選んで文を書くことができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 人物の性格を表す言葉について理解する。 3 人物の性格と行動を表す言葉を集めたり、それらを使って文を書いたりする。 4 学習を振り返り、人物の性格と行動を表す言葉についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎性格や行動を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。B(1)エ 【主】 ・進んで人物の性格と行動を表す言葉について理解し、学習課題に沿って、意図に合った言葉を選んで文を書こうとしている。	
12	言葉の意味と使い方 4時間(書4) 教科書:下巻 P.62～65 ----- 既習事項との関連 言葉の意味を知る(3上「国語じてんの使い方」)、複数の意味を持つ漢字について知る(3上「漢字の表す意味」)	●複数の意味を持つ言葉があることを理解し、意味を考えて文の中で使うことができる。 ◇言葉の意味について説明したり、考えたことを文章にまとめたりする。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 複数の意味を持つ言葉について理解する。 3 複数の意味を持つ言葉を国語辞典で調べ、文の中でどのような意味で使われているのかを説明する。 4 学習を振り返り、言葉の意味と使い方についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。(1)オ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。B(1)エ 【主】 ・進んで、複数の意味を持つ言葉について理解し、学習課題に沿って文や文章の中で使おうとしている。	
12	百人一首に親しもう 2時間(読2) 教科書:下巻 P.66～71 ----- 既習事項との関連 俳句に慣れ親しむ。(3年「俳句に親しむ」)	●短歌の言葉の響きやリズムに親しみ、かるた遊びを楽しむことができる。 ◇短歌を音読したり暗唱したりする。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 五・七・五・七・七の音数など、短歌や百人一首について理解する。 3 かるた遊びをする。 4 単元の学習を振り返り、短歌について学んだことの理解を確かめる。	【知・技】 ◎易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。C(1)オ 【主】 ・進んで短歌の言葉の響きやリズムに親しみ、学習の見通しを持って、かるた遊びを楽しもうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
12	<p>ブックトークをしよう</p> <p>4時間(読4) 教科書:下巻 P.72～75</p> <hr/> <p>既習事項との関連 これまでに読んだ本を振り返る(4上「図書館へ行こう」4上上「四年生の本だな」)</p>	<p>●ブックトークを通して、読書によって必要な知識や情報が得られることを知り、幅広く読書に親しむことができる。</p> <p>◇本を読んで分かったことをまとめて、ブックトークをする。C(2)イ</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 今までに読んだ本を振り返り、テーマとともに紹介したい本を集めて選ぶ。 3 発表の準備をして、ブックトークを行う。 4 学習を振り返り、友達が紹介した本やP.74・75で紹介している本などを手がかりにして、これからの読書生活に生かそうという意識を高める。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ <p>【思・判・表】</p> <p>◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。C(1)カ</p> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで幅広く読書に親しみ、今までの学習を生かして、ブックトークをしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中の読書に生かす。 ・他教科等で、本で調べたことをまとめて発表する。
12	<p>漢字を使おう 8</p> <p>1 時間(書1) 教科書:下巻 P.76</p>	<p>●3年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。</p> <p>◇絵の中の言葉を使って文を書く。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、駅や列車について文を書く。 3 学習を振り返り、3年生までに習った漢字を確かめる。 	<p>【知・技】</p> <p>◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文を整えている。B(1)エ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで第3学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。 	
1	<p>日本語の数え方について考えよう</p> <p>数え方を生み出そう</p> <p>10 時間(読10) 教科書:下巻 P.78～90</p> <p>【言葉の力】 筆者の考えから自分の考えを広げる</p> <hr/> <p>既習事項との関連 筆者の考えを捉える(3年「カミツキガメは悪者か」)</p>	<p>●日本語の数え方に対する筆者の考えを捉えて、自分の考えを広げることができる。</p> <p>◇文章を読み、分かったことや考えたことを説明する。C(2)ア</p> <hr/> <p>見通す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 <p>取り組む</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 「数え方を生み出そう」を読み、筆者の伝えたいことを確かめる。 3 筆者の説明について考える。 4 新しい数え方を考えて発表する。 <p>振り返る</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 筆者の考えを受けてどのように自分の考えを広げていったかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。 	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。C(1)ウ <p>◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。C(1)カ</p> <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで筆者の考えから自分の考えを広げ、学習の見通しを持って日本語の数え方について考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースに対する意見を読み、自分の考えを広げる。
1	<p>漢字を使おう 9</p> <p>1 時間(書1) 教科書:下巻 P.91</p>	<p>●3年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。</p> <p>◇絵の中の言葉を使って文を書く。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、病院について文を書く。 3 学習を振り返り、3年生までに習った漢字を確かめる。 	<p>【知・技】</p> <p>◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ</p> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文を整えている。B(1)エ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで第3学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。 	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
1	<p>じょうほうのとびら 理由をぎんみする</p> <p>2 時間(書 2) 教科書: 下巻 P.92～93</p> <hr/> <p>既習事項との関連 考えは、理由とともに述べることを理解する(3年「考えと理由」)</p>	<p>●考えの理由を吟味することについて理解し、話や文章を書くことができる。 ◇考えの理由を吟味しながら文や文章を書く。</p> <hr/> <ol style="list-style-type: none"> 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 理由を吟味する方法について理解する。 3 課題に取り組み、読み手を納得させる文章を書く。 4 学習を振り返り、考えの理由を吟味する方法についての理解を確かめる。 	<p>【知・技】 ◎考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解しようとしている。(2)ア</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主】 ・進んで理由を吟味する方法について理解し、学習課題に沿って、文や文章を書こうとしている。</p>	<p>・読書をしたりテレビやインターネットのニュースを見たりするとき、書き手や話し手の考えの理由を吟味する。</p>
1 5 2	<p>自分なら、どちらを選ぶか</p> <p>9 時間(書 9) 教科書: 下巻 P.94～99</p> <p>【言葉の力】 理由をぎんみして考えを書く</p> <hr/> <p>既習事項との関連 考えの理由を明らかにして書く(3年「クラスの思い出作りのために」)</p>	<p>●理由を吟味しながら、自分の考えを書くことができる。 ◇自分の考えの理由を掘り下げ、分かりやすく伝える。B(2)ア</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 特徴を書き出す。 3 話し合って考えを深める。 4 書くことを整理する。 5 文章を書く。 6 文章を読みあう。</p> <p>振り返る 7 理由を吟味して考えを書くとき、どのようなことに気をつけたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。(1)ウ</p> <p>・考えとそれを支える理由など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】 ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。B(1)イ</p> <p>◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主】 ・進んで理由を吟味し、学習の見通しを持って、考えを文章にまとめようとしている。</p>	<p>・クラスで発表するとき、自分の考えとその理由をくわしく伝える。</p>
2	<p>調べたことをほうこくしよう</p> <p>9時間(話聞9) 教科書: 下巻 P.100～106</p> <p>【言葉の力】 分かりやすく伝える</p> <hr/> <p>既習事項との関連 話の組み立てや話し方をくふうする(3年「道具のうつりかわりを説明しよう」)</p>	<p>●身の回りのことについてグループでアンケートを行い、調べたことを分かりやすく報告することができる。 ◇調べたことを話す。A(2)ア</p> <hr/> <p>見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む 2 調べて報告することを決める。 3 アンケートを作って調べる。 4 アンケートの結果をまとめる。 5 組み立てを考え、話す練習をする。 6 調べたことを報告する。</p> <p>振り返る 7 調べたことを分かりやすく報告するためにどのようなことに気をつけたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】 ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ</p> <p>・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などについて情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思・判・表】 ◎「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。A(1)イ</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。A(1)ウ</p> <p>【主】 ・進んで分かりやすく話すための構成や話し方を工夫し、学習の見通しを持って、調べたことを話そうとしている。</p>	<p>・社会科の学習で、調べたことや考えたことを、伝え方を工夫しながら発表する。</p>

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
2	漢字を使おう 10 1 時間(書 1) 教科書:下 P.107	●3年生までに習った漢字を使って、文を書くことができる。 ◇絵の中の言葉を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 絵の中の言葉を使って、町の様子について文を書く。 3 学習を振り返り、3年生までに習った漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文を整えている。B(1)エ 【主】 ・進んで第3学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って文を書こうとしている。	
2	同じ読み方の漢字 2時間(知技2) 教科書:下巻 P.108～109 ----- 既習事項との関連 漢字の意味を理解する(3上「漢字の表す意味」、4上「漢字辞典の使い方」)	●同じ読み方の漢字について理解して、文や文章の中で使い分けができる。 ----- 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 2 同じ音や同じ訓の漢字と、それぞれの意味について理解する。 3 さまざまな同じ読み方の漢字を比べて、文の中で使い分ける。 4 学習を振り返り、同じ読み方の漢字についての理解を確かめる。	【知・技】 ◎第4学年までに配当されている漢字を読んだり、文や文章の中で使ったりしている。(1)エ 【主】 ・進んで、同音・同訓の漢字について理解し、学習課題に沿って、文や文章の中で使い分けようとしている。	
2 3	考えたことを文章にまとめよう 世界一美しいぼくの村 12時間(読12) 教科書:下巻 P.110～126 【言葉の力】 物語の終わり方について考える ----- 既習事項との関連 物語のしかけを見つける(3年「ゆうすげ村の小さな旅館―ウサギのダイコン」)	●物語の終わり方について、感じたことや考えたことを文章にまとめることができる。 ◇物語を読み、考えたことを伝え合う。C(2)イ ----- 見通す 1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。 取り組む 2 「世界一美しいぼくの村」を読み、初めて読んだ感想を書く。 3 家族や「バグマンの村」に対する「ヤモ」の思いを考える。 4 物語の終わり方について、考えたことを伝え合う。 振り返る 5 物語の終わり方についてどのようなことを感じたり考えたりしたかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。	【知・技】 ・段落の役割について理解している。(1)カ 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。C(1)オ ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。C(1)カ 【主】 ・進んで物語の終わり方について考え、学習の見通しを持って考えたことを伝え合おうとしている。	・物語の終わり方を想像しながら本を読み、読書を楽しむ。
3	漢字を使おう 11 1 時間(書 1) 教科書:下巻 P.127	●都道府県名の漢字を使って、文を書くことができる。 ◇都道府県名の漢字を使って文を書く。 ----- 1 単元の学習課題を確かめる。 2 都道府県名の漢字を使って、文を書く。 3 学習を振り返り、都道府県名の漢字を確かめる。	【知・技】 ◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文の中で使っている。(1)エ 【思・判・表】 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文を整えている。B(1)エ 【主】 ・進んで都道府県名の漢字を知り、学習課題に沿って、都道府県名の漢字を使って文を書こうとしている。	

月	単元・教材 既習事項との関連	●単元の目標／◇言語活動 主な学習活動	単元の評価規準 (学習指導要領との対応)	他教科等との関連
3	<p>十年後のわたしへ</p> <p>7時間(書7) 教科書:下巻 P.128～131</p> <p>【言葉の力】 文章のよいところを確かめる</p> <p>-----</p> <p>既習事項との関連 文章のよいところを伝え合う (3年「わたしのベストブック」)</p>	<p>●十文年後の自分に向けて、今の自分のことを伝える手紙を書くことができる。 ◇伝えたいことを手紙にする。B(2)イ</p> <p>-----</p> <p>見通す</p> <p>1 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>取り組む</p> <p>2 十年後の自分に手紙を書く。</p> <p>3 タイムカプセルを作る。</p> <p>振り返る</p> <p>5 自分の文章のよいところを、どう生かしていきたいかを振り返り、身につけた「言葉の力」を確かめ、これからの学習に生かそうという意識を高める。</p>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。(1)オ <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア ◎「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。B(1)オ <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで自分の文章のよいところを確かめ、学習の見通しを持って十年後の自分に手紙に書こうとしている。 	<p>・話したり書いたりするとき、伝えたいことが分かりやすいかを見直す。</p>